

第2回朝霞市総合計画審議会
次 第

日時 令和5年10月31日(火)
午前10時から
場所 朝霞市役所 別館2階
全員協議会室

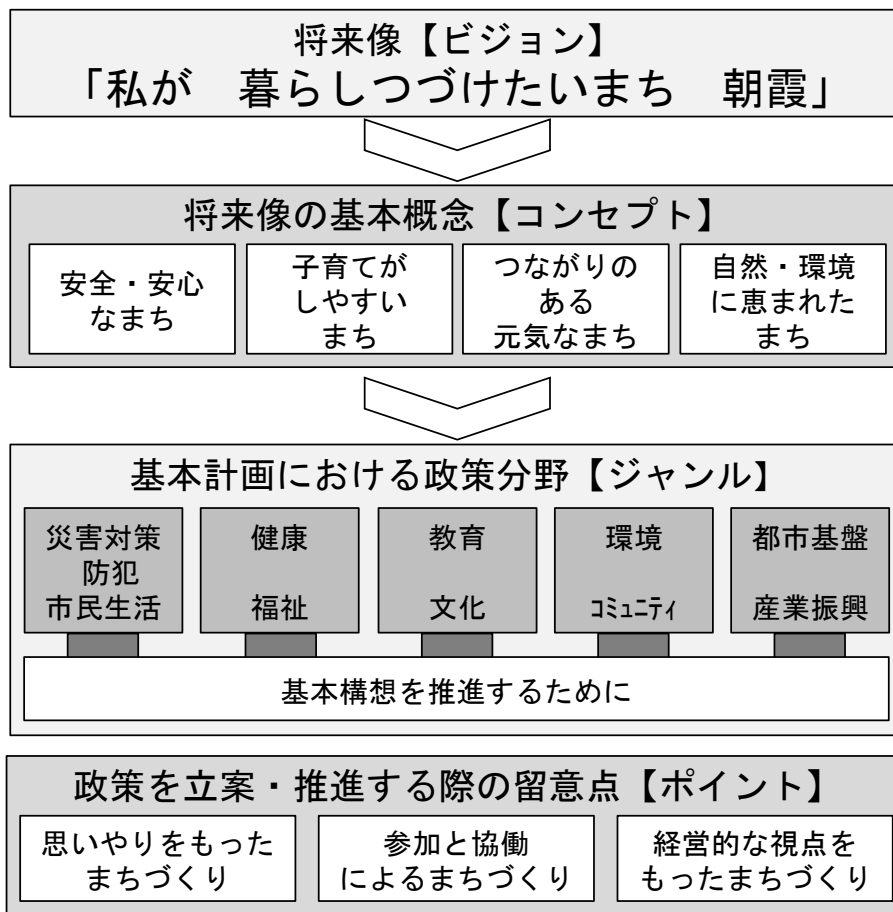
- 1 開 会
- 2 議 事
 (1) 市民意識調査等の調査項目について
- 3 その他
 (1) 基礎調査の取りまとめ状況について
- 4 閉 会

総合計画とは

総合計画とは、防災・健康・福祉、教育・文化、環境、都市基盤、産業振興、市民参画など、市のすべての分野において基本となるまちづくりのための計画です。中・長期的な視点から市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けて、将来の行政需要やまちづくりの方向性などを総合的、体系的に示しています。

現在、朝霞市では「第5次朝霞市総合計画」に基づき、さまざまな施策や事業に取り組んでいます。

《基本構想の構成》



<引用：第5次朝霞市総合計画後期基本計画>

平成26年度から令和7年度を計画期間とする「第5次朝霞市総合計画」は、市民と市がともに実現を目指す将来像とその実現に向けた政策の方向性を示す「基本構想」、基本構想を実現するための市の具体的な施策を分野別に体系的に示す「基本計画」、基本計画に定めた各施策を展開するためのより具体的な事務や事業の内容を示す「実施計画」の三層で構成しています。

第5次朝霞市総合計画についての詳細はホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>



はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和5年●月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性別は。

1 男性	2 女性	3 どちらともいえない
------	------	-------------

F 2 あなたの年齢は。

1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳
4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳
7 70～79歳	8 80～89歳	9 90歳以上

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

1 青葉台（1丁目）	2 朝志ヶ丘（1～4丁目）
3 大字上内間木	4 大字下内間木
5 大字台	6 大字根岸
7 岡（1～3丁目、大字含む）	8 北原（1～2丁目）
9 幸町（1～3丁目）	10 栄町（1～5丁目）
11 泉水（1～3丁目）	12 田島（1～2丁目、大字含む）
13 仲町（1～2丁目）	14 西原（1～2丁目）
15 西弁財（1～2丁目）	16 根岸台（1～8丁目）
17 浜崎（1～4丁目、大字含む）	18 東弁財（1～3丁目）
19 膝折町（1～5丁目）	20 本町（1～3丁目）
21 溝沼（1～7丁目、大字含む）	22 三原（1～5丁目）
23 宮戸（1～4丁目、大字含む）	24 陸上自衛隊朝霞駐屯地

F 4 あなたの主な職業・就業形態等は。

1 農業	2 自営業
3 会社員・団体職員	4 会社や団体の役員・経営者
5 公務員	6 教職・研究職
7 パート・アルバイト・内職	8 専業主婦・専業主夫
9 学生	10 無職
11 その他（	）

F 5 あなたの勤務先、通学先はどちらですか。

1 朝霞市内	2 埼玉県内（志木市・和光市・新座市）
3 埼玉県内（1・2以外）	4 東京都内
5 その他（	6 通勤・通学していない

F 6 あなたは、幼少の頃から朝霞市にお住まいですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

F7 F6で「2 いいえ」と回答された方にお聞きします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） | 2 埼玉県内（1以外） |
| 3 東京都内 | 4 その他（ ） |

F8 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 5年未満 | 2 5～9年 | 3 10～19年 |
| 4 20～29年 | 5 30年以上 | |

F9 あなたの同居している世帯・家族の構成は。

- | | | |
|--------------|----------|------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 親と子（2世代） |
| 4 親と子と孫（3世代） | 5 その他（ ） | |

F10 あなたと同居している世帯・家族の中に18歳未満のお子さんはいますか。

- | |
|-------------------------------|
| 1 いる（未就学のお子さんのみ） |
| 2 いる（小学生以上18歳未満のお子さんのみ） |
| 3 いる（未就学と小学生以上18歳未満のお子さんどちらも） |
| 4 いない |

朝霞市の住みよさについてお聞きします

問1 あなたは、これからも朝霞市に住みつづけたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 ずっと住みつづけたい | } 1または2を選んだ方は、
問2にお進みください |
| 2 当分は住みつづけたい | |
| 3 どちらともいえない | |
| 4 できれば市外に移りたい | } 4または5を選んだ方は、
問3にお進みください |
| 5 すぐにでも市外に移りたい | |

問2 問1で「1 ずっと住みつづけたい」「2 当分は住みつづけたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが朝霞市に住みつづけたいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1 通勤・通学に便利だから | 2 今の住まいに満足だから
（住宅が広い、新しいなど） |
| 3 買い物など日常生活が便利だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよいから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が多いから | 6 近所づきあいが多くから |
| 7 地域になじみや愛着があるから | 8 緑があり自然環境がよいから |
| 9 その他（ ） | |

問3 問1で「4 できれば市外に移りたい」「5 すぐにでも市外に移りたい」を選んだ方にお聞きします。あなたが市外に移りたいとお考えになった理由を、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 通勤・通学に不便だから | 2 今の住まいに不満だから
(住宅が狭い、古いなど) |
| 3 買い物など日常生活が不便だから | 4 子どもの教育や子育て環境がよくないから |
| 5 都会的な楽しさや魅力が少ないから | 6 近所づきあいになじめないから |
| 7 地域になじみや愛着がないから | 8 緑が少なく自然環境がよくないから |
| 9 その他 () | |

地域との関わりについてお聞きします

問4 あなたは日頃、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|------------------------|
| 1 日頃から助け合うなど親しく付き合っている |
| 2 会えば立ち話をする |
| 3 会えばあいさつ程度はする |
| 4 近所付き合いはしていない |
| 5 その他 () |

問5 あなたは日頃、地域の自治会・町内会やボランティア団体などで、コミュニティ活動を行っていますか。次の活動（ア～キ）それぞれについて1つずつ選んでください。

	積極的に活動している	加入しているが活動はしていない	現在、加入しては いないが関心はある	加入していないし 関心もない
ア 自治会・町内会活動	1	2	3	4
イ 清掃奉仕や福祉ボランティア活動	1	2	3	4
ウ 子ども会・老人クラブなどの地域活動	1	2	3	4
エ 音楽・舞踊などの文化芸術活動	1	2	3	4
オ スポーツ・レクリエーションなどのサークル活動	1	2	3	4
カ 祭りや大会などの地域行事活動	1	2	3	4
キ その他の活動 ()	1	2	3	4

問10 あなたは、普段、市政情報（市が発信する情報、市からのお知らせ）をどのような媒体で入手していますか。次の中からすべて選んでください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 市の広報紙 | 2 市のホームページ |
| 3 市のフェイスブック、X（旧ツイッター）等のSNS | 4 市のメール配信サービス |
| 5 テレビやラジオなどの市政情報番組 | 6 掲示板 |
| 7 自治会の集会や回覧 | 8 市の説明会 |
| 9 新聞 | |
| 10 その他（ | ） |

問11 あなたは、意見や要望などを市に伝えたい場合はどのような手段を選びますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---|---|
| 1 市が開く各種相談に行くか、または相談窓口で電話をする | |
| 2 市役所の担当課へ行くか、または電話をする | |
| 3 市が開く会議やワークショップ等で意見を述べる | |
| 4 市議会議員に頼む | |
| 5 自治会・町内会や団体などの役員に頼む | |
| 6 陳情や請願をする | |
| 7 「市への意見・要望」などを利用する | |
| 8 市のホームページの「お問い合わせ」を利用する | |
| 9 市のフェイスブック、X（旧ツイッター）等のSNSを使って意見・要望を伝える | |
| 10 電子メールで市の担当者に意見・要望を伝える | |
| 11 その他（ | ） |

問12 今後、少子高齢化の進展により社会保障に関する支出の増加が見込まれるなど、市の財政状況がより厳しくなっていくことも予想されます。市が提供しているサービスの維持・充実について、市の努力により対応できる範囲を超えることがあった場合、どのように対応すべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 収入増につながる施策を充実させることなどにより対応すべき | |
| 2 行政サービスをある程度廃止、縮小することにより対応すべき | |
| 3 行政サービス維持・充実のため、市民の負担を増やしても対応すべき | |
| 4 わからない | |
| 5 その他（ | ） |

※行政が提供しているサービスの一例：住民異動の手続き、子育て支援などの児童福祉、高齢者・障害のある方に対する福祉、ゴミ処理や公共施設の運営など

市の全般的な取組についてお聞きします

問13 以下に示す第5次朝霞市総合計画の政策分野ごとの取組（1から31）について、それぞれどのように感じていますか。次の項目ごとに、あてはまる番号を**1つずつ**選んでください。

注) ご記入にあたって

満足度・各欄の左側に記す項目ごとに、その現状についてどのように感じているか、5段階のうち、あてはまる番号に○を付けてください。

重要度・朝霞市のまちづくりや発展のために今後重点的に取り組むことを期待する度合いについて、5段階のうち、あてはまる番号に○を付けてください。

	満足度					重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例) 取組について該当する番号を○で囲む→	⑤	4	3	2	1	⑤	4	3	2	1

1 防災・消防 ・防災対策の推進 ・地域防災力の強化 ・消防体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 生活 ・防犯のまちづくりの推進 ・消費者の自立支援の充実 ・安心できる葬祭の場の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 地域福祉 ・地域共生社会の構築 ・生活困窮者等への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 子育て支援・青少年育成 ・子どもたちが健やかに育つ環境整備 ・子育て家庭を支えるための環境整備 ・幼児期等の教育・保育の充実 ・青少年の健全育成の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 高齢者支援 ・健康で活躍できる地域社会の推進 ・自立のためのサービスの確立 ・安全・安心な生活ができる環境整備 ・地域包括ケアシステムの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度					重要度				
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

6 障害のある方への支援 ・共に生きる社会の実現 ・地域における自立生活支援 ・自立に向けた就労の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 保健・医療 ・健康づくりの支援 ・保健サービスの充実 ・地域医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 社会保障 ・社会保障制度の適正な運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 学校教育 ・朝霞の次代を担う人材の育成 ・確かな学力と自立する力の育成 ・質の高い教育を支える教育環境の整備充実 ・学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 生涯学習 ・生涯学習活動の推進 ・学びを支える環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 スポーツ・レクリエーション ・スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・利用しやすい施設の提供	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 地域文化 ・歴史や伝統の保護・活用 ・芸術文化の振興 ・地域文化によるまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 環境 ・住みよい環境づくりの推進 ・脱炭素・循環型社会の推進 ・環境教育・環境学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度					重要度				
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

14 ごみ処理 ・ごみの減量・リサイクルの推進 ・ごみ処理体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 コミュニティ ・コミュニティ活動の推進 ・活動施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 市民活動 ・市民活動への支援 ・市民活動環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 土地利用 ・市街地の適正な利用 ・市街地周辺の適正な利用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 道路交通 ・やさしさに配慮した道づくり ・まちの骨格となる道路づくり ・良好な交通環境づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 緑・景観・環境共生 ・まちの骨格となる緑づくり ・うるおいのある生活環境づくり ・まちの魅力を生み出す景観づくり ・循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度					重要度				
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

20 市街地整備 ・特性に応じた市街地づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 上下水道整備 ・上水道の整備・充実 ・公共下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 安全・安心 ・災害や犯罪に強いまちづくり ・全ての人にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 産業活性化 ・魅力ある商業機能の形成 ・中小企業の経営基盤の強化 ・企業誘致の推進 ・都市農業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 産業の育成と支援 ・産業育成のための連携強化 ・起業・創業の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 勤労者支援 ・勤労者支援の充実 ・雇用の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 人権の尊重 ・人権教育・啓発活動 ・問題解決に向けた支援体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

満足度					重要度				
満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

27 男女平等 ・男女平等の意識づくり ・男女平等が実感できる生活の実現	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 多文化共生 ・外国人市民が暮らしやすいまちづくり ・多文化共生への理解の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29 市民参画・協働 ・市民参画と協働の推進 ・情報提供の充実と市民ニーズの把握	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30 財政 ・公平・適正な負担による財政基盤の強化 ・公共施設の効果的・効率的な管理運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31 行政 ・総合計画の推進 ・適正かつ効率的な行政事務の遂行 ・機能的な組織づくりと人材育成 ・シティ・プロモーションの展開	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問19 あなたは、高齢者や障害のある方が安心して暮らせるまちになるために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1 医療施設の充実 |
| 2 介護サービス・障害福祉サービスの充実 |
| 3 高齢者や障害のある方が利用しやすいよう建物や交通のバリアフリー化の推進 |
| 4 高齢者や障害のある方の権利や尊厳を守るための各種制度や体制の充実 |
| 5 地域で見守る体制の充実 |
| 6 気軽に相談できる体制の充実 |
| 7 スポーツ・レクリエーションや文化芸術活動の充実 |
| 8 地域活動やボランティア活動の充実 |
| 9 日常や災害時等の情報提供の充実 |
| 10 就労機会の充実 |
| 11 その他（ ） |

問20 あなたは、災害対策として、行政にどのようなことを期待していますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 災害発生時の情報提供や普段の防災広報 | 2 市内の被害想定（家屋倒壊・火災・水害）の周知 |
| 3 避難場所や避難ルートの情報提供 | 4 避難場所など防災拠点の整備 |
| 5 避難者用の食料・水、日常生活用品等の備蓄 | 6 自主防災組織や防災ボランティアの育成 |
| 7 防災訓練などによる防災意識啓発 | 8 災害時の医療・救護体制の整備 |
| 9 災害時要援護者（高齢者及び障害者等）の支援対策 | 10 住宅の耐震化に対する補助 |
| 11 その他（ ） | |

問21 あなたは、これから学習するとすれば、どのようなことを学習したいですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1 仕事に必要な知識・技能や資格に関する事 | 2 インターネットの知識・技能に関する事 |
| 3 健康やスポーツに関する事 | 4 料理や裁縫などの家庭生活に関する事 |
| 5 音楽や美術・レクリエーション活動などの趣味に関する事 | 6 文学や歴史、語学などの教養に関する事 |
| 7 育児や教育に関する事 | 8 自然体験や生活体験などの体験活動に関する事 |
| 9 ボランティア活動に必要な知識・技能に関する事 | 10 人口減少や地球温暖化などの社会問題に関する事 |
| 11 その他（ ） | 12 学習したいと思わない |

問21-1 問21で1～11を選んだ方にお聞きします。学習のために、どのような施設を利用していきたいですか。（複数回答可）

（例：公民館）

問22 市街地内の農地について、今後どのようにしたら良いと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 現在のまま保全する
- 2 基本的に農地として維持しながら、市民農園や観光農園等として活用する
- 3 都市の発展のため、農地から都市的土地利用へ転換する
- 4 その他（ ）

問23 自然環境（黒目川、新河岸川、武蔵野の原生林などの水辺・緑地など）について、今後どのようにしたら良いと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 現在のまま保全する
- 2 現在の自然環境を維持しながら、公園、緑地などをふやす
- 3 都市として発展するために自然環境が多少損なわれても仕方がない
- 4 その他（ ）

問24 市内の都市基盤の維持・整備について、今後、力を入れるべきだと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 道路 | 2 歩道 |
| 3 公園・緑地 | 4 広場 |
| 5 駐車場・駐輪場 | 6 河川・河川敷 |
| 7 橋梁 | 8 上下水道 |
| 9 その他（ ） | |

問25 今後、まちなかの魅力を高めるために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 歩道が広く、歩きやすい道づくり
- 2 カフェなどの休憩施設がある公園の整備
- 3 景観に配慮した美しいまちなみづくり
- 4 イベントスペースとしても活用できる広場づくり
- 5 店舗・商業施設の誘致によるにぎわいづくり
- 6 医療・福祉施設の充実
- 7 水と緑のうるおいのある憩いの空間づくり
- 8 アクセスしやすい公共交通サービスの充実
- 9 その他（ ）

問26 今後、どのような土地利用が望ましいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 利便性を高めるため、駅前などに都市機能（病院や商業施設、公共施設など）を集約する
- 2 空き家や空き地を積極的に活用する
- 3 自然に触れられる公園を整備、維持する
- 4 無秩序な開発を抑制する
- 5 緑地や農地など、緑を保全・創出する
- 6 住宅密集地の解消など、災害に備える
- 7 その他（)

問27 新型コロナウイルス感染症の流行を経験して、今後重要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 テレワークなどの新しい働き方
- 2 キャッシュレス決済の普及
- 3 行政手続きのオンライン化
- 4 病床確保やオンライン診療など医療体制の充実
- 5 日常的な運動の機会づくり
- 6 デジタルを活用した教育の充実
- 7 安心して飲食できる環境
- 8 感染リスクに配慮した交流機会の確保
- 9 移住定住の促進
- 10 日常的な隣近所とのつながり
- 11 3密回避やワクチン等の感染予防対策の継続
- 12 その他（)

問28 朝霞市において、今後どのようなデジタル化の取組が重要と考えますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 行政手続きのオンライン化の推進
- 2 マイナンバーカード・マイナポータルの活用
- 3 ICT等を活用した子育て相談・支援の拡充
- 4 高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援
- 5 SNSやアプリを活用した災害情報の共有
- 6 市が保有する情報のオープンデータ化
- 7 テレワーク環境の整備
- 8 その他（)

問29 自由意見欄

最後に、今後のまちづくりや市政について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

朝霞市民意識調査（案）と過去調査との対照表

頁		設問番号	項目	設問意図	変更事項	経年比較
-	依頼文	-				-
-	総合計画とは	-				-
1	あなたご自身のことについて	F1～F10	性別／年齢／居住地区／職業／勤務先・通学先／出生地／転入元／居住期間／家族構成／子どもの有無	回答者の属性の把握	・F1性別に選択肢「どちらとはいえ ない」を追加	○（H25、R元） ※H25より一部変更あり
2	朝霞市の住みよさについて	問1	定住意向	定住意向の把握		○（H25問1、R元問1）
		問2	住み続けたい理由	定住意向の理由の把握	・選択肢を複数回答可に変更	○（H25問1-1、R元問2）
3	地域との関わりについて	問3	住み続けたくない理由	移住意向の理由の把握	・選択肢を複数回答可に変更	○（H25問1-2、R元問3）
		問4	近所付き合いの状況	近所付き合いの状況の把握		○（H25問2、R元問4）
		問5	コミュニティ活動の取組状況	コミュニティ活動の取組状況の把握		○（H25問3、R元問5）
4		問6	まちづくりの役割分担	市民と行政の役割分担の意向を把握	・選択肢の一部を変更	○（H25問14、R元問13）
		問7	まちづくり参加への意欲	まちづくり参加の意欲を把握		○（H25問15、R元問14）
		問8	まちづくりに参加しやすくするための工夫	まちづくりに参加しやすくする方法を把握		新規
	市政について	問9	市政への関心度	市政への関心度の把握		○（H25問16、R元問6）
		問9-1	市政に関心がない理由	市政への関心がない理由の把握		○（H25問16-1、R元問7）
5		問10	市政情報の入手方法	市政情報の入手方法の把握		○（R元問8）
		問11	意見や要望を伝える方法	意見や要望を伝える方法の把握	・選択肢を複数回答可に変更	○（H25問17、R元問9）
		問12	税収と行政サービスの方向性	税収減への対応の方向性について市民の意向を把握		○（R元問11）
6	市の全般的な取組について	問13	取組ごとの満足度・重要度	市の分野ごとの取組に対する市民の意向を把握	・行財政部分を行政と財政に分割	○（R元問12）
11	これからのまちづくりについて	問14	将来の朝霞市はどのようなまちがよいか	望ましい朝霞市のイメージを把握	・選択肢の一部を変更	△（H25問9）
		問14-1	朝霞市のキャッチフレーズ、都市イメージ	将来像作成のための表現を把握		新規
		問15	過去と比較して充実した分野、今後注力すべき分野	分野ごとに過去と未来を比較	・回答方法について、過去と未来に分けて選択する方式に変更	△（H25問10、R元問15）
12		問16	未来に活かしたい朝霞市の強み	市民の考える強みを把握		新規
		問17	人口減少・少子高齢化におけるまちづくり	人口減少・少子化対策の方向性を把握	・選択肢の一部を変更	△（H25問11）
		問18	若者や子育て世帯に選ばれるまちになるために重要なこと	若者や子育て世帯の移住定住促進の方向性を把握		新規
13		問19	高齢者や障害のある方が安心して暮らせるまちになるために重要なこと	高齢者や障害のある方が生活する上で重視することを把握		新規

		問20	災害対策に関する行政への期待	災害対策として行政に期待することを把握	・選択肢の一部を変更	○ (H25問23)
		問21	今後取り組みたい学習・スポーツの内容	学習・スポーツの取組に対する意向を把握		新規【生涯学習・スポーツ課】
		問21-1	今後学習・スポーツに取り組む際に利用したい施設	学習・スポーツの取組で利用した施設を把握		新規【生涯学習・スポーツ課】
14		問22	市街地内の農地の方向性	農地の保全・活用の方向性を把握		○ (H25問12)
		問23	自然環境の方向性	自然環境の保全・活用の方向性を把握		○ (H25問13)
		問24	都市基盤の維持・整備で注力すべきこと	都市基盤整備の方向性を把握		新規【まちづくり推進課】
		問25	まちなかの魅力を高めるために必要なこと	市街地の魅力向上の方向性を把握		新規【まちづくり推進課】
15		問26	望ましい土地利用	土地利用の方向性を把握		新規【まちづくり推進課】
		問27	アフターコロナにおいて重要なこと	コロナ後に重視されていることを把握		新規
		問28	行政のデジタル化で重要なこと	行政のデジタル化の方向性を把握		新規【デジタル推進課】
16	自由意見	問29	今後のまちづくりや市政についての意見	まちづくり全般への意向を把握		－

朝霞市青少年アンケート(案)

～あなたのご意見をお聞かせください～

市内に住む青少年のみなさん、こんにちは！

朝霞市では、まちづくりの指針となる「朝霞市総合計画」を10年ごとに見直しており、現在、令和8年度からの計画づくりを始めています。

そこで、朝霞市の将来を担う若い世代のみなさんが、日頃どのようにまちを見ているのか、ご意見をお聞きしたいと考えています。

このアンケートは、市内にお住まいの12歳以上18歳未満の方1,000人を無作為に抽出し、お送りしています。ご回答は全て統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

また、調査結果は市ホームページ等で公表する予定です。若いみなさんのご意見や考えを計画づくりに活かしていくため、ぜひこの調査にご協力をお願いいたします。

令和5年●月

朝霞市長 富岡 勝則

ご記入に当たってのお願い

1. 質問への回答は、宛て名にあるご本人がお答えください。
2. 当てはまる項目について、調査票に直接○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、() 内に内容をご記入ください。
3. 回答時間の目安は●～●分程度です。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、●月●日(●)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
5. 調査票や封筒にお名前やご住所を書いていただく必要はありません。

【Web回答について】

- ・回答は、Webからも行うことができます。希望される方は、以下の二次元コードまたはURL (●●●●●●●●●●●●●●●●) より本調査専用サイトにアクセスしてご回答ください。
- ・Web回答をされる場合は「インターネット用回答番号」を入力してください。この番号は調査票との二重回答を防止するために使用し、回答者を特定するためのものではありません。

インターネット用回答番号

二次元
コード

問い合わせ先

朝霞市役所 政策企画課 政策企画係

TEL 048-463-3089 (直通)

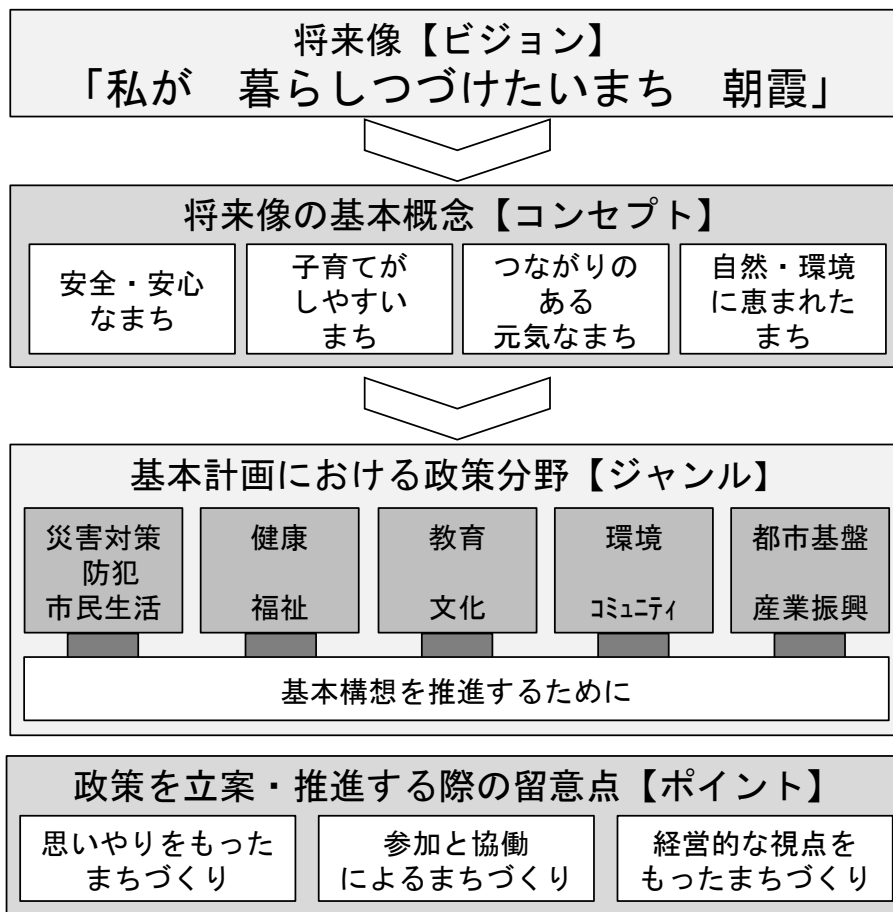
メール seisaku_kikaku@city.asaka.lg.jp

総合計画とは

総合計画とは、防災・健康・福祉、教育・文化、環境、都市基盤、産業振興、市民参画など、市のすべての分野において基本となるまちづくりのための計画です。中・長期的な視点から市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けて、将来の行政需要やまちづくりの方向性などを総合的、体系的に示しています。

現在、朝霞市では「第5次朝霞市総合計画」に基づき、さまざまな施策や事業に取り組んでいます。

《基本構想の構成》



<引用：第5次朝霞市総合計画後期基本計画>

平成26年度から令和7年度を計画期間とする「第5次朝霞市総合計画」は、市民と市がともに実現を目指す将来像とその実現に向けた政策の方向性を示す「基本構想」、基本構想を実現するための市の具体的な施策を分野別に体系的に示す「基本計画」、基本計画に定めた各施策を展開するためのより具体的な事務や事業の内容を示す「実施計画」の三層で構成しています。

第5次朝霞市総合計画についての詳細はホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/2/5jisougoukeikaku.html>



はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

令和5年●月1日時点でお答えください

F 1 あなたの性別は。

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらともいえない |
|------|------|-------------|

F 2 あなたの年齢は。

- | | |
|----------|----------|
| 1 12～14歳 | 2 15～18歳 |
|----------|----------|

F 3 あなたのお住まいはどの地区ですか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 青葉台（1丁目） | 2 朝志ヶ丘（1～4丁目） |
| 3 大字上内間木 | 4 大字下内間木 |
| 5 大字台 | 6 大字根岸 |
| 7 岡（1～3丁目、大字含む） | 8 北原（1～2丁目） |
| 9 幸町（1～3丁目） | 10 栄町（1～5丁目） |
| 11 泉水（1～3丁目） | 12 田島（1～2丁目、大字含む） |
| 13 仲町（1～2丁目） | 14 西原（1～2丁目） |
| 15 西弁財（1～2丁目） | 16 根岸台（1～8丁目） |
| 17 浜崎（1～4丁目、大字含む） | 18 東弁財（1～3丁目） |
| 19 膝折町（1～5丁目） | 20 本町（1～3丁目） |
| 21 溝沼（1～7丁目、大字含む） | 22 三原（1～5丁目） |
| 23 宮戸（1～4丁目、大字含む） | 24 陸上自衛隊朝霞駐屯地 |

F 4 あなたは、小学校に入学する前から朝霞市にお住まいですか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 5 F 4で「2 いいえ」と回答された方におうかがいします。朝霞市に住む以前はどちらにお住まいでしたか。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1 埼玉県内（志木市・和光市・新座市） | 2 埼玉県内（1以外） |
| 3 東京都内 | 4 その他（ ） |

F 6 あなたは、朝霞市にお住まいになってどれくらいになりますか。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 5年未満 | 2 5～9年 | 3 10年以上 |
|--------|--------|---------|

朝霞市について日頃感じていることをお聞きします

問1 4 あなたは、「朝霞市のまちづくり」に関心がありますか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 とてもある | 2 少しある |
| 3 あまりない | 4 まったくない |

問2 あなたは「朝霞市」が好きですか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | | |
|--------------|---|------------------------------|
| 1 好き | } | 1 または2 を選んだ方は、
問3にお進みください |
| 2 どちらかといえば好き | | |
| 3 あまり好きではない | } | 3 または4 を選んだ方は、
問4にお進みください |
| 4 好きではない | | |

問3 問2で「1 好き」「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。
次の中から 3つ まで選んでください。

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよい | 2 緑などの自然が豊かである |
| 3 交通の便がよい | 4 まちが安全・安心である |
| 5 友だちや近所の人が親切である | 6 公園やスポーツ施設が充実している |
| 7 買い物が便利である | 8 イベントやお祭りが多い |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実している | |
| 10 その他 () | |

問4 問2で「3 あまり好きではない」「4 好きではない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。次の中から 3つ まで選んでください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 住んでいる環境やまちなみがよくない | 2 緑などの自然が少ない |
| 3 交通の便が悪い | 4 まちが安全・安心ではない |
| 5 親しい友人や近所付き合いがない | 6 公園やスポーツ施設が充実していない |
| 7 買い物が不便である | 8 イベントやお祭りが少ない |
| 9 図書館、博物館、児童館、公民館などが充実していない | |
| 10 その他 () | |

問5 大人になっても、朝霞市に住みつづけたいですか。次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 住みつづけたい | 2 どちらかといえば住みつづけたい |
| 3 どちらともいえない | 4 住みつづけたいとはあまり思わない |
| 5 住みつづけたくない | |

これからのまちづくりについての考えをお聞きします

問6 将来の朝霞市はどのようなまちであればよいと思いますか。あなたのイメージに近い言葉を、次の中から3つまで選んでください。

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1 穏やかな | 2 あたたかい | 3 やすらぎのある |
| 4 快適な | 5 落ち着きのある | 6 素朴な |
| 7 美しい | 8 安全・安心な | 9 のびのびした |
| 10 秩序ある | 11 やさしい | 12 便利な |
| 13 賑やかな | 14 元気のある | 15 いきいきとした |
| 16 チャレンジ精神旺盛な | 17 わくわくする | 18 豊かな |
| 19 居心地がよい | 20 歩きたくなる | 21 その他 () |

問7 あなたは、将来の朝霞市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つまで選んでください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 子育てしやすく、教育環境が整っているまち |
| 2 高齢者や障がい者などを大切にする福祉の充実したまち |
| 3 医療機関や保健サービスが充実しているまち |
| 4 だれもが安全で安心して暮らせるまち |
| 5 快適な街並みや美しい都市景観に満ちたまち |
| 6 鉄道・道路などの整備がさらに進んで、交通の便利なまち |
| 7 水辺や緑など、自然環境のよいまち |
| 8 文化・芸術・スポーツに力を入れるまち |
| 9 歴史や伝統を大切にするまち |
| 10 産業が盛んで働く場所が多いまち |
| 11 おしゃれな街並みやお店があって、買い物やグルメが楽しめるまち |
| 12 居心地がよく歩きたくなるまち |
| 13 その他 () |

問8 あなたは、朝霞市のまちづくりのために、どのようなことができると思いますか。あなたが現在または将来できると思う活動を、次の中からすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 まちの美化・緑化活動 | 2 自然や環境を守る活動 |
| 3 家庭ごみの減量・リサイクル活動 | 4 防犯・防災活動 |
| 5 スポーツや健康づくり活動 | 6 お祭りなどのレクリエーション活動 |
| 7 文化・芸術活動 | 8 子育て支援の活動 |
| 9 高齢者・障者への支援活動 | 10 人権を守る活動 |
| 11 その他 () | |

問9 あなたは、未来に活かしていきたい朝霞市の強みは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 都心への近さ | 2 道路・鉄道の交通利便性のよさ |
| 3 雑木林や湧き水など武蔵野の自然 | 4 買い物のしやすさ |
| 5 保育園など子どもの預け先の多さ | 6 公園や遊び場の多さ |
| 7 学校での教育内容や設備のよさ | 8 避難所の多さ |
| 9 治安のよさ | 10 ボランティアや地域活動を行う市民の多さ |
| 11 図書館・児童館・公民館などの豊富さ | 12 歴史・文化的資源の豊富さ |
| 13 彩夏祭などのイベントの多さ | 14 その他（ ） |

地域との関わりについてお聞きします

問10 あなたは、日頃、地域とどのような関わりをもっていますか。次の中からあなたに当てはまるものをすべて選んでください。

- | |
|---|
| 1 近所の人と顔見知りである |
| 2 近所の人とあいさつをしている |
| 3 祭りやもちつき大会、運動会など、町内会等の行事に参加している |
| 4 清掃活動や防犯パトロールなどの地域活動に参加している |
| 5 スポーツチーム、ボランティア団体、趣味の団体など地域の団体に加入・活動している |
| 6 その他（ ） |

問11 あなたは、困ったときや悩んだときに誰に相談することが多いですか。次の中から最も相談することが多い人の番号を3つまで選んでください。

- | | | |
|------------------------------------|----------|--------|
| 1 親 | 2 祖父母 | 3 兄弟姉妹 |
| 4 学校や塾の先生 | 5 友人 | 6 近所の人 |
| 7 加入している地域団体（スポーツチーム、ボランティア団体等）の大人 | | |
| 8 相談する人がいない | 9 その他（ ） | |

問12 あなたは、平日の放課後(働いている方は仕事が終わった後)や休日は、どこで何をして過ごしますか。次の中から、よく過ごす場所(1つ)と、よくしていること(3つまで)を選んでください。

<12-1 平日の放課後の過ごし方>

よく過ごす場所 (1つ)

- | |
|------------|
| 1 朝霞市内 |
| 2 市外(埼玉県内) |
| 3 東京都内 |
| 4 それ以外 () |

よくしていること (3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 家でテレビや動画を見たり、音楽をきいたり、ゲームをするなど一人で過ごす |
| 2 家で勉強をして過ごす |
| 3 家で友達と遊ぶ |
| 4 公民館や図書館、児童館で過ごす |
| 5 公園などでスポーツをして過ごす |
| 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く |
| 7 学校でクラブ活動をする |
| 8 買い物や食事のできる場所に行く |
| 9 カラオケやゲームセンターなどに行く |
| 10 何となく、ぶらぶらして過ごす |
| 11 家族と過ごす |
| 12 その他 () |

<12-2 休日の過ごし方>

よく過ごす場所 (1つ)

- | |
|------------|
| 1 朝霞市内 |
| 2 市外(埼玉県内) |
| 3 東京都内 |
| 4 それ以外 () |

よくしていること (3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 家でテレビや動画を見たり、音楽をきいたり、ゲームをするなど一人で過ごす |
| 2 家で勉強をして過ごす |
| 3 家で友達と遊ぶ |
| 4 公民館や図書館、児童館で過ごす |
| 5 公園などでスポーツをして過ごす |
| 6 塾や習い事、スポーツクラブに行く |
| 7 学校でクラブ活動をする |
| 8 買い物や食事のできる場所に行く |
| 9 カラオケやゲームセンターなどに行く |
| 10 何となく、ぶらぶらして過ごす |
| 11 家族と過ごす |
| 12 その他 () |

最後に

問16 朝霞市の「自慢できるもの・こと」や「将来残したいもの・こと」はありますか。人物、場所、イベント、食べ物など自由に記述してください。

問17 あなたが朝霞市長だったとしたら、どのようなことをしてみたいですか。自由に記述してください。

調査はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

朝霞市青少年アンケート（案）と過去調査との対照表

頁		設問番号	項目	設問意図	変更事項	経年比較	市民意識調査との比較
-	依頼文	-				-	
-	総合計画とは	-					
1	あなたご自身のことについて	F1~F6	性別／年齢／居住地区／出生地／転入元／居住期間／	回答者の属性の把握	・F1性別に選択肢「どちらとはいえない」を追加	○（H25、R元） ※H25より一部変更あり	
2	朝霞市に日頃感じていること	問1	朝霞市のまちづくりへの関心	まちづくりへの関心度を把握	・選択肢を複数回答可に変更	○（H25問1、R元問1）	
		問2	朝霞市への愛着	まちへの愛着を把握		○（H25問2、R元問2）	
		問3	愛着がある理由	愛着の理由を把握		○（H25問3、R元問3）	
		問4	愛着がない理由	愛着の無い理由を把握		○（H25問4、R元問4）	
		問5	大人になってからの定住意向	定住意向を把握	・選択肢の一部を変更	○（H25問5、R元問5）	
3	これからのまちづくりについて	問6	将来の朝霞市はどのようなまちがよいか	望ましい朝霞市のイメージを把握	・選択肢の一部を変更	○（H25問6）	○（市民問9）
		問7	将来の朝霞市をどのようにしていきたいか	今後注力すべき分野を把握	・選択肢12を追加	○（H25問7）	○（市民問10の一部）
		問8	まちづくり活動への意欲	まちづくり活動への意欲を把握		○（H25問8、R元問7）	
4		問9	未来に活かしたい朝霞市の強み	市民の考える強みを把握		新規	○（市民問11）
	地域との関わり	問10	日頃の地域との関わり	地域との関係性を把握	・選択肢の一部を変更	○（H25問9、R元問8）	
		問11	困ったときや悩んだときの相談相手	身近な相談相手の有無を把握		○（H25問10、R元問9）	
5		問12-1 問12-2	放課後や休日等の過ごし方	学校外での過ごし方を把握		○（H25問11、R元問10）	
6		問13	学校と家以外で放課後や休日に過ごしたい場所	必要とされる居場所を把握		新規	
	市の取組について	問14	市内外への情報発信で注力すること	情報発信で重視することを把握		新規	
		問15	デジタル化の取組で重要なこと	デジタル化で重視することを把握		新規	○（市民問27）
7	最後に	問16	朝霞市の「自慢できるもの・こと」 「将来残したいもの・こと」	朝霞市の自慢を把握		新規	
		問17	あなたが朝霞市長のだったらしてみたいこと	子どもが考えるまちづくりを把握		新規	

基礎調査の取りまとめ状況

令和5年（2023年）10月

【 目 次 】

1	基礎調査の目的と項目	3
	(1) 基礎調査の目的	3
	(2) 基礎調査の項目	3
2	時代潮流の整理—朝霞市を取り巻く外部環境	4
	(1) 整理の視点	4
	(2) 朝霞市を取り巻く外部環境としての時代潮流	4
3	主要統計指標の都市比較—統計から見た朝霞市の内部環境	9
	(1) 整理の視点	9
	(2) 比較対象都市と調査項目	9
	(3) 地勢	11
	(4) 人口（その1：人口動態）	12
	(5) 人口（その2：人口構成）	13
	(6) 産業	14
	(7) 就労	15
	(8) 生活	16
	(9) 安全安心	17
	(10) 行財政	18
4	今後の予定	19

1 基礎調査の目的と項目

(1) 基礎調査の目的

本市は、令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）の10年間を計画期間とする、第6次朝霞市総合計画（以下「第6次総合計画」）の策定を進めているところである。

本調査は、第6次総合計画の策定にあたり、本市を取り巻く外部環境としての時代潮流の整理、主要統計指標の都市比較を通じた本市の内部環境の考察、まちづくりの主要課題の整理等を実施して、計画策定の基礎資料とすることを目的としている。

(2) 基礎調査の項目

本調査では、次の調査項目を予定している。今回は、そのうち、①と②について中間報告する。

なお、市民意識調査等の調査結果や、市民ワークショップ等の結果については、本調査とは別に報告することを予定している。

<基礎調査の項目>

今回の報告範囲

①時代潮流の整理—朝霞市を取り巻く外部環境

②主要統計指標の都市比較—統計から見た朝霞市の内部環境

③【今後実施】①②のとりまとめと「まちづくりの主要課題」

2 時代潮流の整理—朝霞市を取り巻く外部環境

(1) 整理の視点

①本市が第6次総合計画策定において考慮すべき動向

ここで言う“時代潮流”は、本市が第6次総合計画策定において考慮すべきと考えられる、国の動向、およびわが国の社会経済全般の動向等とし、国・県資料等から整理する。

②10年間という長期計画策定の背景としての動向

“時代潮流”の考察にあたっては、短期的な視点からではなく、10年間という長期計画策定の背景として、長期的な視点から考慮すべき動向等を重視して整理する。

(2) 朝霞市を取り巻く外部環境としての時代潮流

上記の視点を踏まえ、国の動向、およびわが国の社会経済全般の動向等を、次の8項目に整理する。

①人口減少と高齢化の進行

②子ども・子育て支援の充実とICTの活用などによる新たな教育の展開

③SDGsの視点を踏まえた取組の推進

④安全・安心への関心の高まり

⑤人生100年時代の到来とQOL（生活の質）の重視

⑥社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）と多様性（ダイバーシティ）の重視

⑦新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう社会変革の進展

⑧DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展

①人口減少と高齢化の進行

総務省「国勢調査」によれば、令和2年（2020年）におけるわが国の総人口は、1億2,615万6千人である。平成27年（2015年）調査と比較して、100万人近い減少となった。

国は、この人口減少傾向が今後も続くと予測している。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という）「日本の将来推計人口（令和5年推計）」によれば、わが国の総人口は、今後、令和52年（2070年）には8,700万人に減少するものと推計されている。

また、社人研によれば、総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は、令和2年（2020年）の28.6%から令和52年（2070年）には38.7%へと上昇するものと推計されている。

このような人口減少と高齢化の進行は、経済活動の停滞だけでなく、コミュニティの担い手不足、社会保障費の増加など、わが国の社会経済のあらゆる側面に多大な影響を及ぼすものと懸念されている。

②子ども・子育て支援の充実とICTの活用などによる新たな教育の展開

厚生労働省「人口動態統計」によれば、令和4年（2022年）の出生者数は、770,759人である。80万人を割り込み、平成27年（2015年）調査と比較して、20万人以上の減少となった。

また、令和4年（2022年）の合計特殊出生率は、1.26である。平成27年（2015年）調査と比較して、0.2ポイント近い減少となり、人口の維持に必要な水準（人口置換水準）である2.07を大きく下回る状況が続いている。

国は、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」を令和3年（2021年）12月に閣議決定した。令和5年（2023年）4月「こども家庭庁」を設置し、“こどもまんなか社会”の実現を掲げ、子どもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、子どもの権利を守る政策を強力に推進しようとしている。

学校教育については、GIGAスクール構想が令和元年（2019年）から積極的に推進され、タブレット端末の導入等を通じ、ICTを活用した教育が浸透しつつある。

また、文部科学省「平成29・30・31年改訂学習指導要領」が、令和3年度（2021年度）からは小学校・中学校ともに全面実施となった。新たな時代に対応できる「生きる力」の育成の重要性、子ども一人ひとりに寄り添った教育の重要性がうたわれ、インクルーシブ教育、ESD教育（持続可能な社会の創り手となることができるようにするための教育）や、外国語教育、プログラミング教育などが展開されている。

③SDGsの視点を踏まえた取組の推進

地球規模での大規模な気候変動は、自然災害の激甚化、人々の生活環境の悪化、生物多様性の喪失などを世界各地で引き起こしている。対策を取らなければ、この気候変動は、今後さらに加速化していくと予測されている。

平成27年（2015年）年に締結された「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求することとされた。また、令和4年（2022年）年に開催されたCOP27（国連気候変動枠組条約第27回締約国会議）では、気候変動対策の具体的実施が求められるなど、持続可能な社会の構築に向けた取組が世界的に推進されている。

国連は、一方で、平成27年（2015年）にSDGs（持続可能な開発目標）を採択し、2030年までに、持続可能なより良い世界を目指す決意を示している。

このような国際的な潮流のもと、わが国でも、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル宣言を令和2年（2020年）に表明した。また、温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取組を指すGX（グリーン・トランスフォーメーション）についても、国・地方自治体、事業者、国民一人ひとりといったさまざまなレベルでの推進が期待されている。

④安全・安心への関心の高まり

近年、わが国においても、地震災害や風水害といった大規模な自然災害による被害が深刻化している。

このような状況の中、国は、平成26年（2014年）年に「国土強靱化基本計画」を閣議決定した。この計画では、強さとしなやかさを備えた国土・地域・経済社会の構築を推進するとともに、地方自治体においても「国土強靱化地域計画」を定め、取組を進めるよう求めている。

また、近年のわが国では、刑法犯認知件数、交通事故発生件数ともに減少傾向にあるが、インターネットを利用した新たな犯罪や、子ども等が被害者となる痛ましい事件・事故が引き続き発生しており、安全・安心なまちづくりへの関心がさらに高まってきている。

このような潮流の中、国民一人ひとりの防災・防犯意識等を高め適切な行動がとれるよう促すとともに、地域の防災・防犯力の強化、自然災害等を教訓とした消防・救急体制のさらなる充実等が求められている。

⑤人生100年時代の到来とQOL（生活の質）の重視

厚生労働省「簡易生命表」によれば、令和4年（2022年）のわが国の平均寿命は、男性81.05歳、女性87.09歳となっている。最近2年は前年を下回る状況が続いているものの、世界的に見ても依然として長寿であり、わが国は「人生100年時代」の実現に近い国の一つとなっている。

100年という長い人生をより充実したものにするため、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となっている。

他方、厚生労働省によれば、令和元年（2021年）のわが国の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、男性72.68歳、女性は75.38歳となっている。平均寿命と比較して10歳程度の差が見られることから、健康寿命の延伸が課題とされている。

QOL（生活の質）を重視する観点から、特に、長い人生を健やかに過ごすための健康づくりや、就労や地域活動への参加など、社会への参画促進に向けた取組が進められている。

⑥社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）と多様性（ダイバーシティ）の重視

社会経済情勢が著しく変化し、人と人との直接的なつながりが希薄になる中、自殺、児童・高齢者に対する虐待等、社会的な孤独・孤立を一因とする問題が深刻化している。

また、SNSを通じた人権侵害等の新たな人権問題の顕在化、外国人や性的少数者に対する根強い差別の存在、先進国では最低レベルにあるジェンダーギャップ指数など、わが国には、未ださまざまな差別・偏見が存在している。

このような社会的な孤立や、差別・偏見は、それ自体が社会問題であり、解消に向けた継続的な取組が求められています。また、それだけでなく、多様な人々の活躍を妨げ、社会の活性化を阻害する要因にもなっている。

このような社会的背景や、平成27年（2015年）に国連が提唱したSDGs（持続可能な開発目標）の理念にともない、わが国でも社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）や多様性（ダイバーシティ）の尊重という考え方が広がりつつある。誰もがその人らしく活躍できる社会の実現に向け、国や地方自治体だけでなく、事業者、地域社会、国民一人ひとり等さまざまな場面における取組が求められている。

⑦新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう社会変革の進展

令和2年（2020年）より世界的な感染拡大がみられた新型コロナウイルス感染症は、各国の社会経済のみならず、人々の働き方や日常的な行動に至るまで、大きな影響を及ぼした。

わが国では、消費縮小や雇用悪化、医療提供体制の逼迫、社会的な孤独・孤立の深刻化などが問題となった。

一方、社会経済システム全般から日常的な買い物まで、感染症の感染拡大を契機としてさまざまな場面でのオンライン化が進んだことにより、テレワーク、オンライン授業、ネットショッピングなど、人々の働き方や暮らしの変革が急速に進展した。

このような変革を背景として、人の居住地選定の自由度や、企業立地選定の自由度が増し、都市部から地方への移住や企業の移転が進むといった動きも見られている。

⑧DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展

インターネットをはじめとしたICTの著しい発展により、社会経済のみならず、人々の働き方や日常生活にも大きな変革が生じている。

総務省によれば、DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、「ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」とされており、世界各国において国をあげた取組が推進されている。

このような潮流の中、国は、令和3年（2021年）9月にデジタル庁を設置し、マイナンバーカードの利用促進と利便性の向上、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化、オンライン診療の促進等を通じ、誰一人取り残されない人に優しいデジタル化を目指している。

加えて、国は、ICTを活用して地方を活性化することを目的として、令和3年（2021年）に「デジタル田園都市国家構想」を掲げた。次いで令和4年（2022年）には「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を示し、デジタルの力による社会課題の解決と地方の魅力の向上を図るものとしている。

3 主要統計指標の都市比較—統計から見た朝霞市の内部環境

(1) 整理の視点

①人口・産業・就労・生活等主要統計指標の把握

本市が第6次総合計画策定において考慮すべきと考えられる、市の内部環境を整理するため、ここでは、人口・産業・就労・生活等主要統計指標の数値を把握する。

②都市比較を通じた本市の特性の把握

本市の特性を把握するため、(2)に掲げるように、ここでは人口移動や地域活性化等に関して競合・協力関係にあると見られる都市（隣接都市、および東武東上線沿線都市の10市）との偏差値比較を行う。

(2) 比較対象都市と調査項目

(1) ②において言及した比較対象都市は、次のとおりである。ただし、さいたま市は、隣接都市であるが政令指定都市であり人口規模が極めて大きいことから、比較対象として適切でないと考え除外している。

また、調査項目は、次ページに示すとおりである。

<比較対象都市>

	人口※	選定理由等
朝霞市	144,062	本市
川越市	353,183	東武東上線沿線都市
東松山市	90,651	東武東上線沿線都市
戸田市	141,887	隣接都市
志木市	76,416	隣接都市、東武東上線沿線都市
和光市	83,962	隣接都市、東武東上線沿線都市
新座市	165,730	隣接都市、東武東上線沿線都市
富士見市	112,839	東武東上線沿線都市
坂戸市	99,763	東武東上線沿線都市
鶴ヶ島市	70,190	東武東上線沿線都市
ふじみ野市	114,156	東武東上線沿線都市

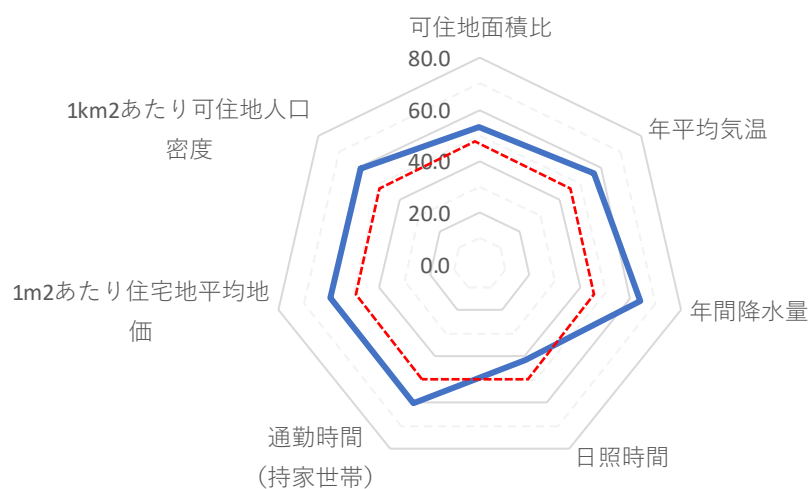
※人口は令和5年（2023年）1月1日現在

<調査項目>

	番号	統計指標	出典
地勢	1	可住地面積比	国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2022年
	2	年平均気温	気象庁「メッシュ平年値データ」1991～2020年
	3	年間降水量	気象庁「メッシュ平年値データ」1991～2020年
	4	日照時間	気象庁「メッシュ平年値データ」1991～2020年
	5	通勤時間（持家世帯）	総務省「住宅土地統計」2018年
	6	1m ² あたり住宅地平均地価	国土交通省「都道府県地価調査」2022年
	7	1km ² あたり可住地人口密度	東洋経済新報社算出 2023年
人口（その1）	1	人口増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	2	自然増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	3	社会増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	4	世帯増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	5	25～39歳有配偶率（男性）	総務省「国勢調査」2020年
	6	25～39歳有配偶率（女性）	総務省「国勢調査」2020年
	7	合計特殊出生率	埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」2021年
人口（その2）	1	年少人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	2	生産年齢人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	3	老年人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	4	後期高齢者比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
	5	平均年齢	総務省「国勢調査」2020年
	6	1世帯あたり人員	総務省「国勢調査」2020年
	7	外国人人口比	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2023年
産業	1	1次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2020年
	2	2次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2020年
	3	3次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2020年
	4	従業者1人あたり製造品出荷額等	経済産業省「工業統計調査」2020年
	5	従業者1人あたり製造品粗付加価値額	経済産業省「工業統計調査」2020年
	6	小売業従業者1人あたり年間商品販売額	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」2021年
	7	小売業売り場面積あたり年間商品販売額	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」2021年
就労	1	労働力率	総務省「国勢調査」2020年
	2	30～49歳女性労働力率	総務省「国勢調査」2020年
	3	高齢者労働力率	総務省「国勢調査」2020年
	4	完全失業率	総務省「国勢調査」2020年
	5	15～29歳完全失業率	総務省「国勢調査」2020年
	6	昼夜間人口比率	総務省「国勢調査」2020年
	7	自市内従業割合	総務省「国勢調査」2020年
生活	1	納税義務者1人あたり所得	総務省「市町村税課税状況等の調」2022年
	2	持家世帯比率	総務省「国勢調査」2020年
	3	1住宅あたり延べ床面積	総務省「住宅土地統計」2018年
	4	空き家率	総務省「住宅土地統計」2018年
	5	汚水処理人口普及率	国土交通省・農林水産省・環境省調 2021年度
	6	1人あたり都市公園面積	国土交通省「都市公園整備水準調書」2021年度
安全安心	1	1万人あたり病床数	厚生労働省「医療施設調査」2021年
	2	1万人あたり医師数	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」2020年
	3	65歳平均自立期間（男性）	埼玉県「埼玉県の健康寿命」2021年
	4	65歳平均自立期間（女性）	埼玉県「埼玉県の健康寿命」2021年
	5	千人あたり刑法犯認知件数	埼玉県警算出 2021年
	6	千人あたり交通事故件数	交通事故総合分析センター算出 2021年
行財政	1	1人あたり地方税収額	総務省「市町村別決算状況調」2021年度
	2	経常収支比率	総務省「市町村別決算状況調」2021年度
	3	実質公債費比率	総務省「市町村別決算状況調」2021年度
	4	将来負担比率	総務省「市町村別決算状況調」2021年度
	5	財政力指数	総務省「市町村別決算状況調」2021年度
	6	自主財源比率	総務省「市町村別決算状況調」2021年度

(3) 地勢

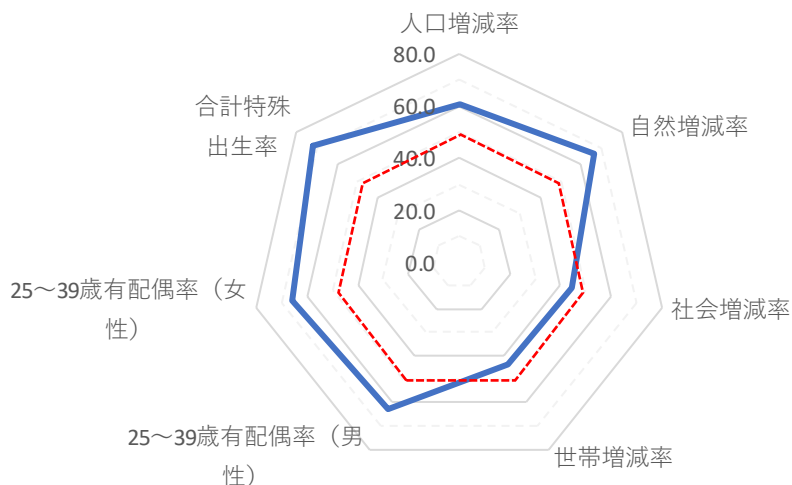
	可住地面積比	年平均気温	年間降水量	日照時間	通勤時間 (持家世帯)	1m ² あたり住 宅地平均地価	1km ² あたり可 住地人口密度
	%	°C	mm	時間	分	万円	人/km ²
朝霞市	98.4	15.3	1488.0	1981.0	56.6	22.8	7981.3
(偏差値)	53.2	56.8	64.2	41.2	60.1	59.2	59.4
川越市	97.4	14.8	1325.0	2007.0	44.4	13.3	3323.4
東松山市	93.9	14.8	1304.0	2032.0	32.6	6.3	1477.1
戸田市	100.0	15.7	1439.0	1978.0	51.3	27.1	7800.3
志木市	100.0	15.3	1423.0	2003.0	57.0	21.3	8443.8
和光市	99.7	15.4	1499.0	1978.0	54.3	23.4	7626.0
新座市	95.3	15.2	1482.0	1974.0	52.6	19.1	7637.3
富士見市	99.3	15.1	1422.0	2004.0	55.7	19.9	5748.3
坂戸市	98.4	14.8	1326.0	1986.0	39.5	6.7	2472.4
鶴ヶ島市	96.0	14.8	1352.0	1989.0	43.7	8.5	4143.4
ふじみ野市	97.8	15.1	1390.0	2017.0	56.1	18.3	7971.8
(比較都市平均)	97.8	15.1	1396.2	1996.8	48.7	16.4	5664.4



- 本市は、日照時間が若干短く、年間降水量がやや多いものの、比較的温暖で可住地の割合も高く、総じて住みやすい地勢にある。
- 通勤時間は志木市に次いで2番目に長いですが、住宅地の地価は戸田市・和光市に次ぐ水準にあり、住宅地需要の高さが伺われる。
- 人口密度は志木市に次いで2番目に高く、密度の高い住宅地が形成されている。

(4) 人口（その1：人口動態）

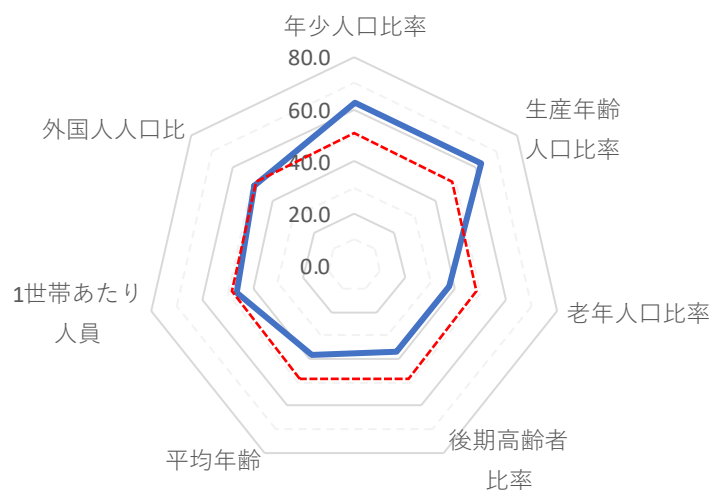
	人口増減率	自然増減率	社会増減率	世帯増減率	25～39歳有配偶率（男性）	25～39歳有配偶率（女性）	合計特殊出生率
	%	%	%	%	%	%	
朝霞市	0.33	0.01	0.32	1.03	48.03	58.90	1.24
(偏差値)	60.7	66.6	44.3	43.8	62.8	66.1	72.1
川越市	▲ 0.01	▲ 0.51	0.49	1.12	43.91	55.60	1.13
東松山市	0.29	▲ 0.61	0.90	1.87	41.94	54.60	1.21
戸田市	0.40	0.00	0.40	1.23	47.98	58.73	1.13
志木市	▲ 0.23	▲ 0.33	0.10	0.66	48.03	58.20	1.14
和光市	0.26	0.11	0.15	1.17	47.42	56.01	1.10
新座市	▲ 0.23	▲ 0.50	0.28	1.06	43.55	56.37	1.18
富士見市	0.37	▲ 0.37	0.74	1.40	45.39	52.68	1.08
坂戸市	▲ 0.23	▲ 0.62	0.39	1.30	45.78	53.80	1.01
鶴ヶ島市	0.17	▲ 0.54	0.71	1.81	39.88	52.48	1.15
ふじみ野市	▲ 0.11	▲ 0.57	0.46	0.90	41.39	57.32	1.08
(比較都市平均)	0.07	▲ 0.39	0.46	1.25	44.53	55.58	1.12



- 比較対象都市の多くが自然減（出生者数が死亡者数を下回る）にある中、本市は自然増（出生者数が死亡者数を上回る）を保っている。
- この自然増には、若年層（ここでは25～39歳）の有配偶率が高く、合計特殊出生率が最も高い状況が寄与しているものと思われる。
- 他方、本市は社会増（転入者数が転出者数を上回る）の状況にはあるものの、その水準は比較対象都市よりやや低くなっている。

(5) 人口（その2：人口構成）

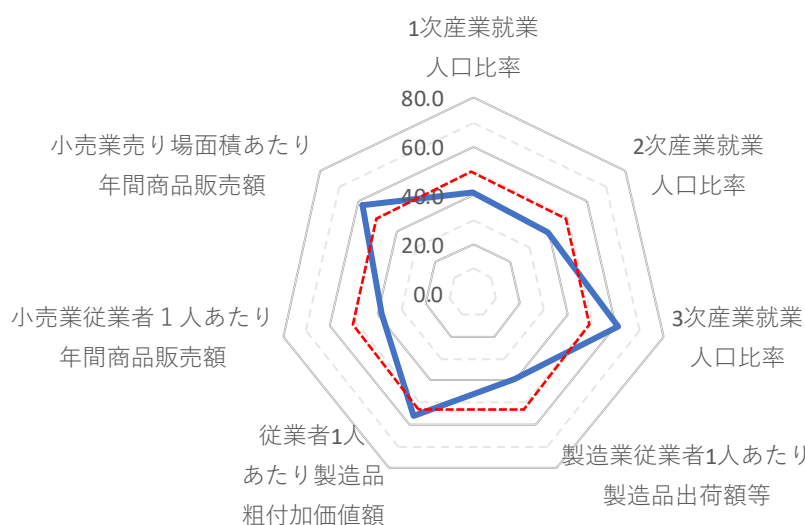
	年少人口比率	生産年齢人口比率	老年人口比率	後期高齢者比率	平均年齢	1世帯あたり人員	外国人人口比
	%	%	%	%	歳	人	%
朝霞市	13.33	67.15	19.53	10.52	43.2	2.10	2.93
(偏差値)	62.7	62.4	37.2	37.1	38.0	46.5	49.2
川越市	11.81	61.17	27.02	14.75	47.6	2.15	2.67
東松山市	11.50	58.73	29.77	14.80	47.5	2.18	3.31
戸田市	13.94	69.41	16.65	8.72	41.6	2.09	5.36
志木市	12.78	62.46	24.75	13.63	45.6	2.14	2.67
和光市	12.99	68.93	18.08	9.37	41.9	1.97	2.88
新座市	12.36	61.89	25.75	14.47	46.3	2.15	2.41
富士見市	12.16	63.69	24.15	13.64	45.6	2.09	2.56
坂戸市	10.95	58.95	30.10	16.10	47.6	2.13	3.08
鶴ヶ島市	10.67	60.11	29.23	15.00	47.4	2.16	2.49
ふじみ野市	12.33	62.18	25.49	14.78	46.4	2.14	2.58
(比較都市平均)	12.15	62.75	25.10	13.53	45.8	2.12	3.00



- 本市の年少人口比率は戸田市に次ぎ、生産年齢比率は戸田市・和光市に次いで高い。平均年齢は戸田市・和光市に次いで低い。
- 老年人口比率（高齢化率）、後期高齢者比率とも、戸田市・和光市に次いで低い若い都市である。
- 他方、世帯あたり人員は比較対象都市平均をやや下回る。外国人人口比は比較対象都市と同等の水準である。

(6) 産業

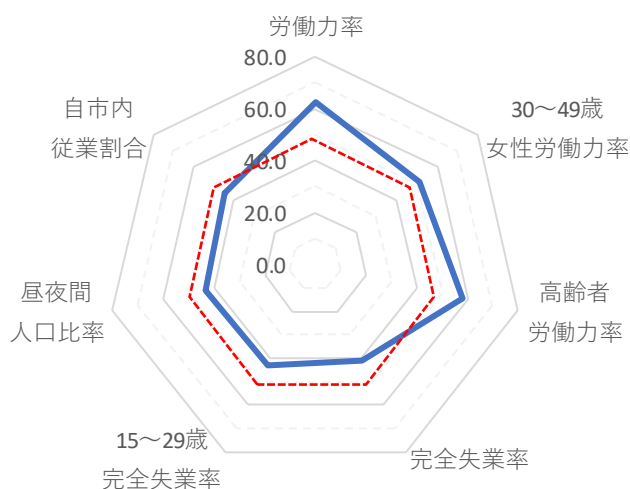
	1次産業就業 人口比率	2次産業就業 人口比率	3次産業就業 人口比率	製造業従業者1 人あたり製造 品出荷額等	従業者1人 あたり製造品 粗付加価値額	小売業従業者 1人あたり年 間商品販売額	小売業売り場 面積あたり年 間商品販売額
	%	%	%	億円	億円	億円	億円/100m ²
朝霞市	0.6	17.9	78.1	0.19	0.44	0.17	1.10
(偏差値)	41.3	39.5	61.3	39.2	56.0	38.5	58.1
川越市	1.7	22.3	72.8	0.42	0.34	0.20	0.95
東松山市	1.5	26.6	68.4	0.30	0.45	0.20	0.68
戸田市	0.1	20.1	76.2	0.22	0.12	0.21	1.15
志木市	0.5	19.1	77.5	0.21	0.42	0.17	0.78
和光市	0.7	14.8	80.7	0.25	0.33	0.24	1.43
新座市	1.0	20.3	75.0	0.19	0.51	0.19	0.83
富士見市	1.3	19.6	75.3	0.26	0.44	0.16	1.02
坂戸市	1.2	25.8	70.9	0.24	0.41	0.18	0.77
鶴ヶ島市	1.0	23.5	72.5	0.20	0.46	0.22	0.93
ふじみ野市	0.9	21.2	74.4	0.26	0.14	0.18	0.69
(比較都市平均)	1.0	21.3	74.4	0.25	0.36	0.20	0.92



- 本市に常住する者が就業する産業を見ると、第3次産業への就業割合が高く、第2次産業は低い。
- 市内の第2次産業のうち製造業を見ると、従業者1人あたりの付加価値額は高いものの、出荷額としては比較対象都市の水準を下回る。
- 商業のうち小売業を見ると、従業者1人あたりの販売額は比較対象都市の水準を下回るものの、売り場面積あたりの販売額は相対的に高い。

(7) 就労

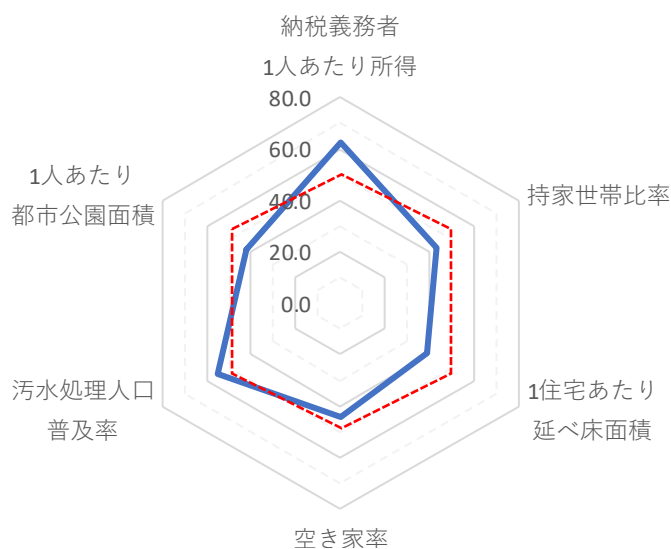
	労働力率	30～49歳 女性労働力率	高齢者 労働力率	完全失業率	15～29歳 完全失業率	昼夜間 人口比率	自市内 従業割合
	%	%	%	%	%	%	%
朝霞市	69.0	77.6	30.3	3.4	4.9	82.9	35.2
(偏差値)	62.5	51.3	58.2	41.4	42.9	43.5	44.4
川越市	62.2	76.5	27.5	3.6	5.7	96.8	51.8
東松山市	60.6	78.2	27.2	4.1	6.0	102.6	49.2
戸田市	70.9	78.2	32.8	3.6	4.8	91.7	40.3
志木市	62.5	76.4	25.1	3.9	6.0	79.5	32.3
和光市	71.5	78.6	31.5	3.1	3.8	86.3	33.3
新座市	64.5	76.7	30.3	3.7	5.8	88.0	37.6
富士見市	65.3	76.6	29.4	3.7	5.0	75.4	32.2
坂戸市	58.4	77.5	24.7	5.7	8.0	92.4	41.6
鶴ヶ島市	61.1	79.7	27.5	4.4	6.5	84.2	33.9
ふじみ野市	62.2	76.2	25.9	3.9	5.2	82.6	36.8
(比較都市平均)	63.9	77.5	28.2	4.0	5.7	87.9	38.9



- 本市の労働力率は和光市・戸田市に次いで高い水準にあるが、子育て期にあたる30～49歳女性の労働力率は比較対象都市と同水準である。
- 完全失業率、若年層（ここでは15～29歳）の完全失業率ともに、比較対象都市の水準を下回っている。
- 昼夜間人口比率、自市内従業割合（本市に常住する就業者が本市内で従業している割合）は低く、住宅都市（ベッドタウン）の性格が強い。

(8) 生活

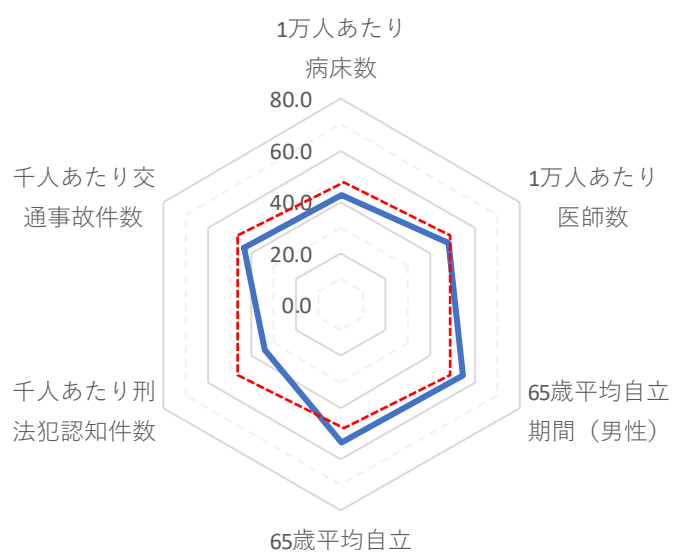
	納税義務者 1人あたり所得	持家世帯比率	1住宅あたり 延べ床面積	空き家率	汚水処理人口 普及率	1人あたり 都市公園面積
	千円	%	m ²	%	%	m ²
朝霞市	3,927	56.0	68.9	9.3	98.6	2.2
(偏差値)	62.3	43.0	38.5	44.2	55.4	42.3
川越市	3,537	69.0	87.3	9.2	96.4	4.7
東松山市	3,256	68.5	97.4	13.2	98.1	23.4
戸田市	3,855	47.2	66.9	8.4	99.0	9.9
志木市	3,899	65.4	76.7	9.2	99.6	4.3
和光市	4,033	47.4	65.5	8.9	99.1	5.2
新座市	3,569	66.0	79.6	8.3	98.4	1.8
富士見市	3,659	57.4	73.0	9.8	99.6	4.2
坂戸市	3,269	63.3	85.1	12.3	91.7	4.5
鶴ヶ島市	3,463	65.4	86.2	11.6	94.6	7.8
ふじみ野市	3,713	63.5	78.1	12.2	96.5	2.2
(比較都市平均)	3,625	61.3	79.6	10.3	97.3	6.8



- 納税義務者1人あたり所得は和光市に次ぎ、相対的に高い所得水準にあると見られる。
- 持家世帯比率および住宅面積は、比較対象都市の水準を下回っている。また、空き家率は相対的に低い水準である。
- 汚水処理人口普及率は相対的に高い水準にあるが、1人あたり都市公園面積は比較対象都市の水準を下回っている。

(9) 安全安心

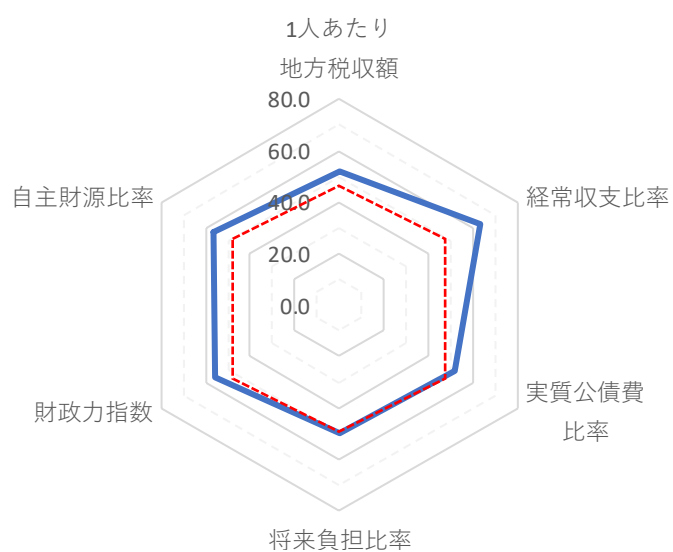
	1万人あたり 病床数	1万人あたり 医師数	65歳平均自立 期間（男性）	65歳平均自立 期間（女性）	千人あたり刑 法犯認知件数	千人あたり交 通事故件数
	床	人	年	年	件	件
朝霞市	51.9	14.8	18.2	21.0	4.2	1.9
(偏差値)	42.6	48.1	54.5	53.4	34.6	43.9
川越市	125.9	26.8	18.0	20.7	5.1	3.0
東松山市	127.1	17.3	18.2	20.9	6.1	2.4
戸田市	110.7	19.7	17.2	20.3	6.1	1.9
志木市	26.4	7.1	18.4	21.5	4.0	1.8
和光市	157.9	34.1	18.6	21.5	4.1	2.5
新座市	64.1	11.9	18.0	21.0	5.2	1.7
富士見市	65.6	15.1	17.9	20.4	5.4	1.7
坂戸市	46.8	9.6	18.0	20.7	5.8	2.3
鶴ヶ島市	51.0	11.4	18.0	21.1	5.4	3.2
ふじみ野市	52.6	10.5	17.7	20.9	5.7	1.7
(比較都市平均)	82.8	16.4	18.0	20.9	5.3	2.2



- 1万人あたり病床数、医師数とも比較対象都市の水準を下回り、医療提供基盤がやや弱い。
- 他方、65歳平均自立期間（健康寿命）は男女とも相対的に高い水準にあり、健康で自立した生活が可能な市民が多い。
- 千人あたり刑法犯認知件数、交通事故発生件数とも比較対象都市の水準を下回っており、相対的に安全で安心できる環境と言える。

(10) 行財政

	1人あたり 地方税収額	経常収支比率	実質公債費 比率	将来負担比率	財政力指数	自主財源比率
	万円	%	%	%		%
朝霞市	16.1	92.6	4.9	17.0	0.98	53.2
(偏差値)	52.0	63.1	51.5	49.5	55.8	56.3
川越市	16.1	95.2	6.2	62.2	0.95	50.6
東松山市	14.7	88.4	3.2	18.6	0.85	46.8
戸田市	20.5	90.7	8.1	26.2	1.21	61.5
志木市	14.6	90.8	1.4	0.0	0.84	43.9
和光市	19.0	89.2	4.0	37.5	1.05	58.5
新座市	15.1	88.1	5.1	25.3	0.90	50.1
富士見市	13.9	87.3	2.5	0.0	0.82	43.8
坂戸市	13.9	85.8	6.8	9.8	0.81	46.0
鶴ヶ島市	14.3	89.4	6.5	0.0	0.85	49.3
ふじみ野市	14.5	89.8	1.8	0.0	0.79	45.1
(比較都市平均)	15.7	89.5	4.6	18.0	0.91	49.6



- 経常収支比率は川越市に次いで高い水準にあり、財政の硬直化が見られる。
- 実質公債費比率および将来負担比率は、比較対象都市と同程度の水準である。
- 1人あたり地方税収額、自主財源比率、財政力指数は高い水準にある。

4 今後の予定

【今回の中間報告】

- ①時代潮流の整理—朝霞市を取り巻く外部環境
- ②主要統計指標の都市比較—統計から見た朝霞市の内部環境



【今後実施】

- ③上記①②のとりまとめと「まちづくりの主要課題」の整理

連番	指摘箇所	指摘事項	対応	備考
1	全般	統計に用いられている指標等、用語の注釈を入れてほしい。	これから取りまとめていく中で、必要に応じて解説を加える等、資料として使えるようにしていく。	
2	全般	大見出し、中見出し、小見出し、説明と見ていくと、説明と見出しが合致していない箇所があるので、記載内容を見直してもらいたい。(P4など)	指摘の点に留意し、まとめていく。	
3	全般	『安全安心』について、P6外部環境では「防災防犯意識を高める」、「消防救急体制の充実」などと狭義な内容であることに対し、P17内部環境では医療や健康寿命、犯罪等広義となっているので、語句の指す内容の統一が必要ではないか。	語句の整理のみならず、外部環境の分析と内部環境の統計指標の関連を持たせるのか等、改めて検討する。	10/18追加
4	外部環境全般 (P3~8)	大きい括りのものから、個別的な政策へという順序に並べた方がわかりやすいのではないか。		
5	P6 ③	ここでのSDGsには環境問題の記載しかない。 ③のタイトルを環境関連とした上で、各項目の説明の中でSDGsに触れるか、特出しして③としてSDGsの内容を集約するか、どちらかにした方が良いのではないか。	全体の取りまとめ方法について、コンサルとも相談の上、より良い構成を考えていきたい。	
6	P8 ⑦	取り上げられ方が少し唐突な印象があるので、まとめ方を検討してもらいたい。		
7	P7 ⑤	①の「高齢化の進行」との関係が強いため、項目を分けず、一連の流れでまとめた方が良いのではないか。		
8	P7 ⑥	タイトルに多様性の「重視」とあるが、「尊重」という言葉を使った方が良いと思う。 また、一か所「ですます調」になっているので、修正してほしい。	項目の統廃合や字句修正など、分かりやすい配置となるよう検討する。	
9	P7 ⑥	「障害者」というキーワードがないため、内容に追記してもらいたい。	指摘のとおり対応する。	
10	内部環境全般 (P9~18)	比較対象が近い市ばかりで、目線が狭いように思う。首都圏平均や県平均を入れるなど、広い目線で見ることで論じられるものもあると思う。	県平均については追加する。 また、その他の比較についても検討する。	
11	内部環境全般 (P9~18)	高齢化への対応につながる調査が不足しているのではないだろうか。 例えば、統計指標に「介護認定率」などを入れた方が良いのではないか。	入れる方向で調整する。 他にも良い指標がないか、検討する。	
12	P11	比較対象が近隣・東武東上線沿線市となっている中で、日照時間等を比較する効果が薄いと思う。		
13	P12	「人口」の分析において、「人口増減率」とあるが、何に対しての増減率なのかわからない。	比較対象とする市、項目について、コンサルと調整する。	
14	P16	「生活」の各指標について、指標が多岐に渡り、関連性が弱く、これらを一律に「生活」としてまとめることに違和感がある。	このまま一括りにするか、分類を分けるかを検討する。	

定住・子育てに関する 意識調査



～意識調査にご協力ください！～

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
昨年、新聞報道等でも大きく取り上げられましたが、人口減少が大きな社会問題として懸念されています。

本市においても、将来的には人口減少することが想定されており、皆様が本市への定住や子育てに関する事などについてどのような意向をお持ちか伺いたく、本調査を実施することといたしました。

ご回答は全て統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、本調査にご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成27年7月

朝霞市長 富岡 勝則

◇記入についてのお願い◇

1. お名前やご住所を書いていただく必要はありません。
2. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの調査票を入れ、切手をはらずに

7月29日(水)までにポストに投函してください。

3. 調査結果につきましては、朝霞市のホームページで公表する予定です。

<http://www.city.asaka.lg.jp/>

問い合わせ先 朝霞市役所 政策企画課

TEL 048-463-3089 (直通)

FAX 048-467-0770 (代表)

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします

各設問について、次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

問1 あなたのお住まいの地域は次のうちどこですか。

回答欄

- | | | | |
|---------------|--------|-------------|-------------|
| 1 青葉台 | 2 朝志ヶ丘 | 3 大字上内間木 | 4 大字下内間木 |
| 5 大字台 | 6 大字根岸 | 7 岡（大字含む） | 8 北原 |
| 9 幸町 | 10 栄町 | 11 泉水 | 12 田島（大字含む） |
| 13 仲町 | 14 西原 | 15 西弁財 | 16 根岸台 |
| 17 浜崎（大字含む） | 18 東弁財 | 19 膝折町 | 20 本町 |
| 21 溝沼（大字含む） | 22 三原 | 23 宮戸（大字含む） | |
| 24 陸上自衛隊朝霞駐屯地 | 25 市外 | | |

問2 ご回答いただく方の性別は。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 ご回答いただく方の年齢は。

- | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|---------|
| 1 24歳以下 | 2 25～29歳 | 3 30～34歳 | 4 35～39歳 | 5 40歳以上 |
|---------|----------|----------|----------|---------|

問4 あなたの世帯の就労の状況について教えてください。

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1 共働きである | 2 共働きでない | 3 その他（_____） |
|----------|----------|--------------|

＜あなたの世帯で就労されている方についてお聞きします。（問4で「1 共働きである」を選んだ方は、お二人のお仕事それぞれについて「A」「B」に分けて記入してください。＞

問5 主な職業は。

- | | | |
|-------------------|------------|----------------|
| 1 農業 | 2 自営業 | 3 会社員・団体職員 |
| 4 公務員 | 5 会社や団体の役員 | 6 パート・アルバイト・内職 |
| 7 その他（具体的に：_____） | | |

共働きの方 → A B 共働きでない方 →

問6 自宅から通勤先まで、どれくらい時間がかかりますか。

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 15分未満 | 2 15～30分 | 3 30分～1時間 |
| 4 1時間～1時間30分 | 5 1時間30分～2時間 | 6 2時間以上 |

共働きの方 → A B 共働きでない方 →

問7 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。

- | | | |
|-------------------|----------------|------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 2 持ち家（集合住宅） | 3 賃貸 |
| 4 公営住宅 | 5 給与住宅（社宅・寮など） | |
| 6 その他（具体的に：_____） | | |

I 本市に居住した「きっかけ」及び「理由」についてお聞きします

各設問について、次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

問8 本市に何年くらい住んでいますか。回答欄に数字を記入してください。

回答欄
↓
 年

問9 本市に住むことになった一番の「きっかけ」は何ですか。

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------|
| 1 生まれたときから住んでいる | 2 自分以外の家族の都合 | 3 自らの進学 |
| 4 自らの就職・転勤・転職 | 5 自らの結婚・離婚 | 6 自らの出産・子育て |
| 7 親や家族の介護 | 8 住宅事情 | |
| 9 環境の向上 | 10 その他（具体的に：_____） | |

回答欄
↓

問10 引越しに際して、どのような「理由」で本市を選びましたか。あてはまるものを以下から最大3つ選んでください。（問9で「1」を選んだ方は、居住場所としての朝霞市のよいところを以下から最大3つ選んでください。）

- | | | |
|---------|-------------------------------------|-----------------|
| 〈交通・産業〉 | 1 通勤・通学に便利である | 2 道路事情がよい |
| | 3 広域的な公共交通の利便性が高い | 4 市内公共交通の利便性が高い |
| | 5 日常の買い物に便利である | 6 就業の場が豊富である |
| | 7 住宅価格（家賃）や広さ、設備等の住宅環境がよい | |
| 〈安全・快適〉 | 8 治安がよい | 9 市内交通環境が安全である |
| 〈医療・福祉〉 | 10 医療・福祉サービスが充実している | |
| 〈子育て〉 | 11 子育ての支援制度や施設が充実している | |
| | 12 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っている | |
| 〈教育・文化〉 | 13 学校教育の内容が充実している | |
| | 14 スポーツ施設や文化施設など、生活に潤いを与える施設が充実している | |
| 〈環境〉 | 15 自然環境がよい | 16 町並み（景観）がよい |
| | 17 生活環境がよい（静かである、ごみ出しが便利など） | |
| 〈その他〉 | 18 家族・親類が本市に住んでいる | 19 まちのイメージがよい |
| | 20 あらかじめ住宅が用意されていた（社宅等） | |
| | 21 その他（具体的に：_____） | |

II 住宅の住み替えについてお聞きします

各設問について、次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

問11 将来、住宅を住み替える希望はありますか。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 市内で住み替えたい | 2 市外で住み替えたい |
| 3 市内外問わないが住み替えたい | 4 住み替えの希望はない |

回答欄
↓

〈問11で「2」「3」を選ばれた方にお聞きします〉

問11-1 市外で住む場合、候補地として検討している地域はどちらですか。候補地として高いものを以下から最大2つ選んでください。

- | | | | | |
|--------------------|---------------------|---------|--------|---------|
| 1 和光市 | 2 志木市 | 3 新座市 | 4 富士見市 | 5 ふじみ野市 |
| 6 三芳町 | 7 川越市 | 8 さいたま市 | 9 戸田市 | 10 練馬区 |
| 11 板橋区 | 12 東京23区（練馬区、板橋区以外） | | | |
| 13 その他（具体的に：_____） | | | | |

<問 11-2～11-4 は、問 11 で「1」「2」「3」を選ばれた方にお聞きします>

問11-2 住み替えを希望する理由は何ですか。あてはまるものを以下から**最大2つ**選んでください。

1 住宅が手狭になるため	2 家賃等の支出を抑えるため
3 親等との同居・近居のため	4 子育て環境向上のため
5 教育環境向上のため	6 生活環境向上のため
7 生活利便性向上のため	8 通勤・通学の利便性向上のため
9 その他（具体的に：_____）	

回答欄
↓

問11-3 住み替え後の住宅は、どのような形態を希望しますか。

1 持ち家（一戸建て）	2 持ち家（集合住宅）
3 賃貸（一戸建て）	4 賃貸（集合住宅）
5 その他（具体的に：_____）	

問 11-4 住宅購入を検討する際に、中古住宅は検討対象となりますか。

<新築のみ>	1 新築しか考えていない	
<中古住宅の可能性もある方>	2 築 10 年程度まで	3 築 20 年程度まで
	4 築 30 年程度まで	5 築 30 年以上でも可

Ⅲ 地域とのつながりについてお聞きします

各設問について、次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

問12 あなたは朝霞市に愛着はありますか。

1 愛着がある	2 どちらかと言えば愛着がある
3 どちらかと言えば愛着はない	4 愛着はない

回答欄
↓

問13 地域とどのようなつながりをお持ちですか。あなたが持っている地域とのつながりとして当てはまるものを以下から**最大3つ**選んでください。

1 自治会・町内会	2 近所付き合い
3 趣味・サークル	4 仕事や会社を通じたつながり
5 子どもを通じたつながり	6 地域のボランティア活動
7 その他（具体的に：_____）	

問14 まちづくりにかかわるとしたら、あなたはどれに取り組みたいですか。特に取り組みたいと思うものを以下から**最大2つ**選んでください。

1 若い世代が自治会・町内会の活動を担う	2 身近な地域で高齢者や子どもを見守る
3 子育て・教育に係るボランティア活動	4 地域福祉に係るボランティア活動
5 知識や技能を生涯学習等に生かす	6 まつりやイベント等でまちを盛り上げる
7 行政と協力して地域課題を解決	8 NPO やビジネスを立ち上げ地域課題を解決
9 市政への参加	10 その他（具体的に：_____）
11 取り組みたいと思わない	

IV 子育てについてお聞きします

各設問について、次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

問 15 あなたは現在お子様が何人いますか。

回答欄に数字を記入してください。

回答欄
↓
現在 人

問 16 現在のお子様の状況についてあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 就学前の子どもがいる | 2 小学生の子どもがいる |
| 3 中学生の子どもがいる | 4 中学校卒業以上 20 歳未満の子どもがいる |

回答欄 →

問 17 理想のお子様の人数は何人ですか。

回答欄に数字を記入してください。

回答欄
↓
理想 (A) 人

問 18 現実的には、お子様を何人育てられそうですか。(今いるお子様も含めて)

回答欄に数字を記入してください。

現実 (B) 人

<問 18 の現実的なお子様の人数が、問 17 の理想のお子様の人数より少ない方 (A>B) にお聞きします>

問 19 現実的に育てられそうなお子様の人数が、理想のお子様の人数より少ないのはどうしてですか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。また、その中で最も重要な理由を1つ選び、◎をつけてください。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから | 2 家が狭いから |
| 3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから | |
| 4 子どもがのびのび育つ環境ではないから | |
| 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 6 高年齢で生むのはいやだから |
| 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから | |
| 8 健康上の理由から | 9 ほしいけれどもできないから |
| 10 パートナーの家事・育児への協力が得られないから | |
| 11 パートナーが望まないから | |
| 12 末子が世帯主の定年退職までに成人してほしいから | |
| 13 その他(具体的に: _____) | |

あてはまるものすべての番号に○を付けてください。また、その中で最も重要な理由を1つ選び、◎をつけてください。

問 20 子どもを生み育てやすくするためには、どのような取り組みが重要だと考えますか。

本市が優先して取り組むべきと思うものを以下から最大3つ選んでください。

- | |
|--|
| 1 子育てや教育への経済的支援 |
| 2 子育て世帯に対する広い住宅への転居やリフォームに係る支援 |
| 3 男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備の支援 |
| 4 子どもを安心して預けられる保育サービスの充実 |
| 5 子育て中の親の安定雇用の促進 |
| 6 子どもが安心して医療機関にかかれる体制や支援 |
| 7 出産への支援や情報提供 |
| 8 子どもが安全安心に過ごせる居場所づくりやまちづくり |
| 9 よりよい学校教育の提供や放課後教室の開催など教育環境の充実 |
| 10 安心して楽しく子育てするための相談窓口や子育てネットワークなどのサービスの充実 |
| 11 仕事と家庭生活を両立するための啓発 |
| 12 その他(具体的に: _____) |

回答欄
↓

問21 本市で子どもを育ててよかった点は何ですか。また、今後改善されるとよい点は何ですか。それぞれあてはまるものを以下から**最大3つ**まで選んでください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1 市の子育てに係る経済的支援の充実度 | 5 放課後児童クラブ等の充実度 |
| 2 市の子育て世帯に対する広い住宅への転居やリフォームへの支援の充実度 | 6 医療・母子保健サービスの充実度 |
| 3 仕事と家庭生活を両立できる就業環境の促進度 | 7 自然環境の豊かさ |
| 4 保育所等の充実度 | 8 治安のよさ |
| 9 道路通行等の安全度 | 10 遊び場やスポーツ施設の充実度 |
| 11 生涯学習環境の充実度（図書館等） | 12 子育てサークル等の充実度 |
| 13 子育てに関する情報の充実度 | 14 学校教育の充実度 |
| 15 塾や習い事など課外活動の場の充実度 | 16 地域の人間関係のよさ |
| 17 その他（具体的に：_____） | |

回答欄 → <よかった点> <改善点>

問22 子どもを持ったとき（子どもを育てながら）の理想の働き方は次のうちどれですか。次の中からあてはまる番号を回答欄に記入してください。

- | |
|----------------------------|
| 1 家事・育児に専念する |
| 2 子どもが小さいうちは家事・育児に専念する |
| 3 家事・育児を優先し、可能な範囲で、短時間就労する |
| 4 フルタイムで就労する |
| 5 わからない |

■最後に、定住や子育て支援等について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
 皆様のご意見を参考にしながら、よりよいまちづくりを進めていきたいと考えていますので、今後とも市政にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

朝霞市に転入された方へ

市では、市に転入された方を対象にアンケートを実施し、長くお住まいいただけるよう、本調査結果を今後の施策づくりに活用してまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

転入世帯用

質問事項	回答欄（あてはまるものに○、カッコ内に記入をしてください）
------	-------------------------------

I 世帯構成とお住まいについて

今回転入される方の世帯構成は次のうちどれですか。	1. 単身 4. 4人	2. 2人 5. 5人以上	3. 3人
お子様について、あてはまるものに全て○をしてください。	1. 就学前 3. 中学生以上	2. 小学生 4. いない	
お住まいになる住宅について	お住まいになる住宅の形態		
	1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（集合住宅） 3. 賃貸 4. 公営住宅 5. 給与住宅（社宅・寮など） 6. その他（ ）		
	価格・家賃の印象		
	1. 安い 2. どちらでもない 3. 高い		
広さの印象			
1. 広い 2. どちらでもない 3. 狭い			
部屋数への満足度			
1. 満足 2. どちらでもない 3. 不満足			
転入前のお住まいの地域	[] 都道府県 [] 市区町村		
転入前のお住まいの形態	1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（集合住宅） 3. 賃貸 4. 公営住宅 5. 給与住宅（社宅・寮など） 6. その他（ ）		

II 転入のきっかけと理由について

主な転入のきっかけをお答えください。	1. 就職・転勤・転職 2. 進学 3. 結婚・離婚 4. 出産・子育て 5. 親や家族の介護 6. 住宅事情 7. 環境の向上 8. その他（ ）		
朝霞市に居住地を決めた理由をお尋ねします。 3つまで選び、番号に○をしてください。	<交通・産業>	1. 交通の利便性がよい 2. 通勤・通学時間の短縮 3. 日常の買い物に便利である 4. 就業の場が豊富である 5. 住宅価格・家賃や広さ、設備等の住宅環境がよい	
	<安全・快適>	6. 治安がよい 7. 市内交通環境が安全である	
	<医療・福祉>	8. 医療・福祉サービスが充実している	
	<子育て>	9. 子育ての支援制度や施設が充実している 10. 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っている	
	<教育・文化>	11. 学校教育の内容が充実している 12. 生活に潤いを与えるスポーツ・文化施設等が充実している	
	<環境>	13. 自然環境がよい 14. 町並み・景観がよい 15. 生活環境がよい（静かさ、ごみ出しなど）	
	<その他>	16. 家族・親類が朝霞市に住んでいる 17. まちのイメージがよい 18. その他（ ）	
朝霞市以外にも居住を検討された場合は、候補地の全てに○をしてください。	1. 和光市 2. 志木市 3. 新座市 4. 富士見市 5. ふじみ野市 6. 三芳町 7. 川越市 8. さいたま市 9. 戸田市 10. 練馬区 11. 板橋区 12. 東京23区（練馬区、板橋区以外） 13. その他（ ）		

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

朝霞市から転出される方へ

市では、市から転出される方を対象にアンケート調査を実施しております。

本調査結果は今後の施策づくりに役立ててまいります。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

転出世帯用

質問事項		回答欄（あてはまるものに○、カッコ内に記入をしてください）		
I 世帯構成とお住まいについて				
今回転出される方の世帯構成は次のうちどれですか。		1. 単身	2. 2人	3. 3人
		4. 4人	5. 5人以上	
お子様について、あてはまるもの全て○をしてください。		1. 就学前	2. 小学生	
		3. 中学生以上	4. いない	
朝霞市には何年居住されましたか。		（ ）年		
お住まいだった住宅について	お住まいだった住宅の形態	1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（集合住宅）	
		3. 賃貸	4. 公営住宅	
		5. 給与住宅（社宅・寮など）		
		6. その他（ ）		
	価格・家賃の印象	1. 安い	2. どちらでもない	3. 高い
	広さの印象	1. 広い	2. どちらでもない	3. 狭い
	部屋数への満足度	1. 満足	2. どちらでもない	3. 不満足
転出先はどこですか。		[] 都道府県 [] 市区町村		
転出先のお住まいの形態		1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（集合住宅）	
		3. 賃貸	4. 公営住宅	
		5. 給与住宅（社宅・寮など）		
		6. その他（ ）		
II 転出のきっかけと理由について				
主な転出のきっかけをお答えください。		1. 就職・転勤・転職	2. 進学	3. 結婚・離婚
		4. 出産・子育て	5. 親や家族の介護	
		6. 住宅事情	7. 環境の向上	
		8. その他（ ）		
朝霞市からの転出理由をお尋ねします。 3つまで選び、番号に○をしてください。	<交通・産業>	1. 交通の利便性が悪い	2. 通勤・通学時間が長い	
		3. 日常の買い物が不便	4. 就業の場がない	
		5. 住宅価格・家賃や広さ、設備等の住宅環境が悪い		
	<安全・快適>	6. 治安が悪い	7. 市内交通環境が安全でない	
	<医療・福祉>	8. 医療・福祉サービスが充実していない		
	<子育て>	9. 子育ての支援制度や施設が充実していない		
		10. 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていない		
<教育・文化>	11. 学校教育の内容が充実していない			
	12. 生活に潤いを与えるスポーツ・文化施設等が少ない			
<環境>	13. 自然環境が悪い	14. 町並み・景観が悪い		
	15. 生活環境が悪い（静かさ、ごみ出しなど）			
<その他>	16. まちのイメージがわるい			
	17. その他（ ）			
機会があれば朝霞市に戻りたいと思いますか。		1. ぜひ戻りたい	2. どちらかといえば戻りたい	
		3. どちらかといえば戻りたくない	4. 戻りたくない	

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。